

商品名 ジャクスタピッドカプセル20mg 医薬品基本情報

薬効	2189 その他の高脂血症用剤	一般名	ロミタピドメシル酸塩カプセル
英名	Juxtapid	剤型	カプセル
薬価	105660.90	規格	20mg 1カプセル
メーカー	レコルダティ・レア・ディジーズ	毒劇区分	(劇)

ジャクスタピッドカプセル20mgの効能・効果

ホモ接合体家族性高コレステロール血症

ジャクスタピッドカプセル20mgの使用制限等

1. 重度肝機能障害、中等度肝機能障害、血清中トランスアミナーゼ高値が持続、強いCYP3A阻害作用を有する薬剤投与中、中程度CYP3A阻害作用を有する薬剤投与中、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 肝機能障害を生じるおそれのある薬剤と併用	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 軽度肝機能障害、腎機能障害、末期腎不全	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 吸収不良をきたしやすい慢性腸疾患、吸収不良をきたしやすい慢性膵疾患、出血傾向、出血傾向素因、腎機能障害、軽度肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ジャクスタピッドカプセル20mgの副作用等

1. AST値が基準値上限の3倍以上かつ5倍未満、ALT値が基準値上限の3倍以上かつ5倍未満	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. ビリルビン上昇、PT-INR延長、血清トランスアミナーゼ値が基準値上限の5倍を超えた、血清トランスアミナーゼ値が4週間程度経過後基準値上限の3倍を下回らない	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
3. AST値が基準値上限の5倍以上、ALT値が基準値上限の5倍以上	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明

4. 血清トランスアミナーゼ値上昇、肝機能障害、悪心、嘔吐、腹痛、発熱、黄疸、嗜眠、インフルエンザ様症状、基準値上限の2倍以上のビリルビン高値、胃腸障害	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
5. 肝機能障害	記載場所	重大な副作用
6. 重度下痢、胃腸障害	記載場所	重大な副作用
7. 肝炎、AST上昇、ALT上昇	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
8. 腹部不快感、腹部膨満、腹痛、上腹部痛、下痢、消化不良、放屁、悪心、嘔吐、便秘、便意切迫、胃炎、胃腸音異常、胃食道逆流性疾患、直腸しぶり、脂肪肝、胃腸炎、体重減少、ALT増加、AST増加、肝機能検査異常、食欲減退、頭痛	記載場所	その他の副作用
9. 腹部圧痛、便通不規則、口乾燥、嚥下障害、便失禁、変色糞、胃腸障害、胃腸痛、血便、過敏性腸症候群、直腸出血、無力症、胸痛、悪寒、異常感、歩行困難、空腹、インフルエンザ様疾患、疼痛、末梢腫脹、発熱、肝腫大、気管支炎、ウイルス性胃腸炎、感染、インフルエンザ、鼻咽頭炎、肺炎、副鼻腔炎、上気道感染症、尿路感染、ウイルス性感染、血中ビリルビン上昇、血中コレステロール増加、血中CK上昇、血中ブドウ糖減少、血中ブドウ糖上昇、血圧上昇、血中トリグリセライド上昇、血中尿素増加、ヘモグロビン減少、心拍数増加、肝酵素上昇、高比重リポ蛋白減少、体重増加、脱水、体重変動、平衡障害、脳血管障害、味覚障害、嗜眠、意識消失、錯感覚、痙攣発作、傾眠、脱毛症、紅斑、毛髪異常成長、多汗症、皮膚そう痒症、蕁麻疹、貧血、血液疾患、内出血発生増加傾向、リンパ節症、関節痛、背部痛、関節硬直、筋萎縮、筋攣縮、筋力低下、筋骨格系胸痛、筋骨格系不快感、筋骨格痛、筋骨格硬直、四肢痛、狭心症、冠動脈狭窄、心筋梗塞、心筋虚血、動悸、耳鳴、過敏症、異常な夢、怒り、不安、うつ病、初期不眠症、不眠症、頻尿、咳嗽、呼吸困難、鼻出血、口腔咽頭痛、鼻漏、咽喉刺激感、潮紅、ほてり、高血圧、低血圧、血栓症	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
10. 下腹部痛、空気嚥下、おくび、軟便、胃拡張、胃障害、痔出血、疲労、倦怠感、ALP増加、カリウム減少、INR異常、トランスアミナーゼ上昇、めまい、片頭痛、蕁麻疹、斑状出血、湿疹、丘疹、アレルギー性皮膚そう痒症、発疹、紅斑性皮疹、鉄欠乏性貧血、筋肉痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
11. 肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
12. 肝脂肪増加、脂肪性肝炎、肝臓線維化	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
13. 出血	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
14. 肝機能検査値異常、催奇形性、臍ヘルニア、内臓奇形、四肢奇形、骨格異常、性成熟遅延、包皮分離遅延、陰開口遅延、運動機能低下、後肢握力低下、肝臓腺腫、小腸腺腫、肝臓癌腫、小腸癌腫、肝臓混合腫瘍、小腸混合腫瘍、膵腺房細胞腺腫、多発性膵臓腺腫、空腸癌腫	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ジャクスタピッドカプセル20mgの相互作用

1. 薬剤名等：強いCYP3A阻害剤			
発現事象	本剤の血中濃度が著しく上昇	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP3Aを阻害することにより、本剤の代謝が阻害	指示	禁止
2. 薬剤名等：中程度のCYP3A阻害剤			
発現事象	本剤の血中濃度が著しく上昇	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP3Aを阻害することにより、本剤の代謝が阻害	指示	禁止
3. 薬剤名等：グレープフルーツジュース			
発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	グレープフルーツに含まれる成分により、本剤の代謝が阻害	指示	禁止
4. 薬剤名等：肝機能障害を生じるおそれのある薬剤と併用			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	慎重投与
5. 薬剤名等：弱いCYP3A阻害剤			
発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP3Aを阻害することにより、本剤の代謝が阻害	指示	慎重投与
6. 薬剤名等：CYP3A誘導剤			
発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP3Aを誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	慎重投与
7. 薬剤名等：CYP3Aの基質となる薬剤			
発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤がCYP3Aを阻害することにより、CYP3Aの基質の代謝が阻害	指示	注意
8. 薬剤名等：ワルファリン			
発現事象	血中濃度が上昇しPT-INRが上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤がCYP2C9を阻害することにより、ワルファリンの代謝が阻害	指示	注意

9. 薬剤名等：P-糖タンパク質の基質となる薬剤

発現事象	血中濃度が上昇、P-糖タンパク質による消化管からの排泄が阻害	投与条件	-
理由・原因	本剤がP-糖タンパク質を阻害することにより、P-糖タンパク質の基質の排泄が阻害	指示	注意

10. 薬剤名等：陰イオン交換樹脂

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	同時に服用した場合に、本剤の吸収が遅延	指示	注意

11. 薬剤名等：抗凝固剤

発現事象	出血の危険性を増大	投与条件	-
理由・原因	ビタミンKの吸収が低下	指示	注意

12. 薬剤名等：血栓溶解剤

発現事象	出血の危険性を増大	投与条件	-
理由・原因	ビタミンKの吸収が低下	指示	注意

13. 薬剤名等：血小板凝集抑制作用を有する薬剤

発現事象	出血の危険性を増大	投与条件	-
理由・原因	ビタミンKの吸収が低下	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』